令和元年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	656　可燃ごみ焼却処理施設維持管理事業		
戦略プラン		担当部課係名	生活環境部サステナスクエア管理課施設運営
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-040202-13　可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画			□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	一部委託
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
焼却施設の安全で安定した稼働を実施する。	・市内から排出された可燃ごみをサステナスクエアに搬入し、焼却施設にて処理する。 ・焼却施設の維持管理を行う。

評価

事業計画	活動実績
・安定的な施設の運転及び維持管理を行う。	・可燃ごみ搬入量：72,305トン

成果	課題
環境基準を遵守し、可燃ごみ処理施設の維持の維持管理と可燃ごみの処理を適正に行い、市民の公衆衛生に対して重要な役割を果たした。	―

改善目標（ R02年度にむけて）

―

指標の推移

1	指標名				（　　）			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名				（　　）			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	581,935	623,673	180,925	0
	一般財源		(千円)	429,921	409,562	191,484	0
事業費計			(千円)	1,011,856	1,033,235	372,409	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	1.00	0.50		
		時間外勤務	(時間)	60.00	60.00		
	臨時職員等		(有無)	有	有		
人件費			(千円)	7,206	3,540		
事業コスト			(千円)	1,019,062	1,036,775		

R02年度当初積算根拠

・旅費　47千円
・需用費（消耗品費、印刷製本費等）　1,382千円
・役務費　1,110千円
・委託料　施設管理委託料　396千円
　　委託料（焼却残灰最終処分委託料等）　363,913千円
・使用料及び賃借料　132千円
・備品購入費　33千円
・負担金補助及び交付金（最終処分場所在市町村負担金等）　4,826千円
・公課費　570千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	3	法令等により、市の実施が定められている。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

令和元年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	657　可燃ごみ処理施設の発電・売電事業		
戦略プラン		担当部課係名	生活環境部サステナスクエア管理課施設運営
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-040202-13　可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画			□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	一部委託
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
サステナスクエア焼却炉の余熱を利用して、蒸気を発生させタービン発電機による発電を行う。	・発電した電力をサステナスクエア（可燃施設）場内で使用し、余剰電力をサミットエナジーへ売電する。 ・H21年度から長期包括的運営管理委託業務を実施し、余剰電力の売電額の３分の１を分配金として委託業者へ支払う。

評価

事業計画	活動実績
・安定的な発電を行い、余剰電力の売電を実施する。	・発電電力量　25,971,413Kwh ・場内使用電力量　9,947,704Kwh ・売電電力量　16,198,206Kwh ・売電電力料金　146,587千円

成果	課題
可燃ごみ処理施設の安定的な運転及び発電を実施することができた。	―

改善目標（ R02年度にむけて）

―

指標の推移

1	指標名	（　Kwh　）						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	16,000.0	16,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	15,111.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	（　）						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	0	0	0	0
	一般財源		(千円)	0	0	0	0
事業費計			(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.50	0.20		
		時間外勤務	(時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等		(有無)	無	無		
人件費			(千円)	3,529	1,357		
事業コスト			(千円)	3,529	1,357		

R02年度当初積算根拠	

予算の方向性		
維持	理由	

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

令和元年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	658　粗大・不燃ごみ処理施設維持管理事業		
戦略プラン		担当部課係名	生活環境部サステナスクエア管理課
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-040202-14　粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画			□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	一部委託
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
市内から排出された粗大、不燃、資源及び有害ごみの搬入処理をするため。	・市内から排出された粗大、不燃、資源及び有害ごみをつくばサステナスクエアに搬入し、つくば市リサイクルセンターにて処理する。 ※粗大ごみ13t/５h、不燃ごみ13t/５h、かん類４t/５h、びん類９t/５h、ペットボトル４t/５h、有害ごみ１t/５h、プラスチック製容器包装16t/5h ・リサイクルセンターの維持管理を行う。

評価

事業計画	活動実績
・定期的な点検整備及び修繕を実施	・粗大・不燃ごみ搬入量：5,029トン ・資源ごみ（かん、びん、古紙古布、ペットボトル、容器プラスチック） 搬入量：3,309トン ・有害ごみ（乾電池・蛍光管）搬入量：47トン

成果	課題
リサイクルセンターの維持管理と、粗大、不燃、資源及び有害ごみの処理を適正に行い、市民の公衆衛生に対して、重要な役割を果たした。	新施設の稼働に伴い、職員の対応や運用に関して見直す点が少なからず見受けられた。お客様が利用し、よりスムーズにごみを捨てられる状態にする必要がある。

改善目標（ R02年度にむけて）

現在、施設運用を委託している業者とのより密接な打ち合わせをすることで、情報の行き違い等をなくす必要こと。

指標の推移

	指標名							
1		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	98,348	79,153	4,000	0
	一般財源		(千円)	88,782	221,493	56,887	0
事業費計			(千円)	187,130	300,646	60,887	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.50	0.50		
		時間外勤務	(時間)	15.00	15.00		
	臨時職員等		(有無)	有	有		
人件費			(千円)	3,567	3,429		
事業コスト			(千円)	190,697	304,075		

R02年度当初積算根拠

- 消耗品　1,100千円
- 燃料費　2,416千円
- 光熱費　18,167千円
- 修繕料　1,341千円
- 通信運搬費　163千円
- 保険料　620千円
- 自動車損害保険料　20千円
- 施設管理委託料　3,260千円
- 委託料　19,520千円
- 賃借料　14,128千円
- 自動車重量税　152千円

予算の方向性	理由	
維持		

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	3	法令等により、市の実施が定められている。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

令和元年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	659　施設から発生した有価物の売却・リサイクル事業		
戦略プラン		担当部課係名	生活環境部サステナスクエア管理課
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-040202-14　粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画			□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	一部委託
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
資源物の回収効率を高めることを目的とする。	・つくば市リサイクルセンターの運転管理委託 ※かん類４t/５h、びん類９t/５h、 ペットボトル４t/５h等 ・有価物の売却とリサイクル ビン（白、茶、その他）、ペットボトル、容器プラスチック→　(財)日本容器包装リサイクル協会へ再商品化を委託 アルミ、鉄類、紙類、古布等 →　３か月ごとに入札によって業者に売却

評価

事業計画	活動実績
定期的な点検整備を実施	アルミ、鉄類、紙類、古布等：70,932千円（歳入） ペットボトル：8,221千円（歳入） びん、容器プラスチック：266千円（歳出） 計　78,887千円

成果	課題
循環型社会を実現するため適正な分別を行い再資源化を推進した。	有価物増加による敷地内圧迫のためストック場の確保

改善目標（ R02年度にむけて）

処理工程の確認を行い適正な運転管理を行う。

指標の推移

1	指標名				（　　）			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名				（　　）			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	0	0	0	0
	一般財源		(千円)	0	0	0	0
事業費計			(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.50	0.50		
		時間外勤務	(時間)	15.00	15.00		
	臨時職員等		(有無)	無	無		
人件費			(千円)	3,567	3,429		
事業コスト			(千円)	3,567	3,429		

R02年度当初積算根拠	

予算の方向性	理由	
維持		

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

令和元年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	660　し尿処理施設維持管理事業		
戦略プラン		担当部課係名	生活環境部サステナスクエア管理課 施設運営係
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-040203-11　し尿処理施設管理に要する経費	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画			□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	一部委託
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、市民の健康で快適な生活を確保する。	・し尿処理施設の維持管理 ・処理能力　50kl ・処理方式　好気性消化処理方式

評価

事業計画	活動実績
定期的な点検整備や修繕を実施し、老朽化に対応する。	・脱臭洗浄塔修繕工事を施工 ・処理量　10,834.4kl （生し尿　965.3kl、浄化槽汚泥　9,869.1kl）

成果	課題
悪臭防止や処理水質の下水道放流基準を遵守しながら、運転管理を適正に行うことにより、市民の健康で快適な生活を確保できた。	施設の老朽化

改善目標（ R02年度にむけて）

定期的な点検整備及び修繕の実施

指標の推移

1	指標名					（　　）		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名					（　　）		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	2,850	3,251	5,500	0
	一般財源		(千円)	53,490	42,346	79,600	0
事業費計			(千円)	56,340	45,597	85,100	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	1.00	1.00		
		時間外勤務	(時間)	73.00	73.00		
	臨時職員等		(有無)	無	有		
人件費			(千円)	7,239	6,963		
事業コスト			(千円)	63,579	52,560		

R02年度当初積算根拠

・需用費　消耗品費（薬品、機械用消耗品等）　10,966千円
　燃料費　16千円
　印刷製本費　80千円
　光熱水費　43,228千円
　修繕料　1,862千円
・役務費　455千円
・委託料　施設管理委託料　4,955千円
　設計委託料　990千円
　委託料　7,115千円
・使用料及び賃借料　105千円
・工事請負費（修繕工事）　15,328千円

予算の方向性	理由	
維持		

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
市の関与 行政が関与する必要性について	3	法令等により、市の実施が定められている。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

令和元年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	661　可燃ごみ焼却処理施設設備改良事業		
戦略プラン		担当部課係名	生活環境部サステナスクエア管理課施設運営
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-040202-18　可燃ごみ焼却処理施設設備改良事業に	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画			□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	職員のみ
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
市民から排出される家庭系及び事業系の一般廃棄物を適正かつ安定して処理するには、可燃ごみ処理施設の基幹的設備改良事業を行うことにより、市民生活の根幹をなすごみ行政の円滑な推進を図る。	・焼却炉に付随する電気機械設備を含めた大規模なリニューアル工事を実施する。 ※行政改革アクションプラン「57 クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事の実施」該当事業

評価

事業計画	活動実績
・共通仮設工事の実施 ・１号炉系の基幹改良工事を完了させる。	・共通仮設工事完成 ・１号炉系の基幹改良工事完成

成果	課題
基幹改良工事完成	―

改善目標（ R02年度にむけて）

―

指標の推移

1	指標名	基幹的整備改良工事実施によるCO2削減率				（　　%　　）		成果指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	※行政改革アクションプラン「57 クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事の実施」該当指標						
2	指標名					（　　）		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	732,924	936,183	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	452,200	562,300	0	0
	その他		(千円)	0	0	0	0
	一般財源		(千円)	1,434,953	1,935,259	0	0
事業費計			(千円)	2,620,077	3,433,742	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	1.00	0.30		
		時間外勤務	(時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等		(有無)	無	無		
人件費			(千円)	7,057	2,035		
事業コスト			(千円)	2,627,134	3,435,777		

R02年度当初積算根拠	

予算の方向性		
終了	理由	事業が完了したため。

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	1	ニーズはほとんどない、又は不明である。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	－	今年度で事業が終了する。
優先度 事業の優先度はどうか	－	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。

令和元年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	662　し尿処理事業（クリーンセンター南分所）		
戦略プラン		担当部課係名	生活環境部サステナスクエア管理課南分所
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-040203-11　し尿処理施設管理に要する経費	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画			□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	職員のみ
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、市民の健康で快適な生活を確保する。	・し尿処理施設の維持管理 ・処理能力　70kl/日 ・処理方式　好気性消化処理方式

評価

事業計画	活動実績
・５月　PHガラス電極整備修繕 ・６月　脱臭設備整備修繕工事 ・10月　破砕機交換外設備関連機器修繕工事入札 ・その他　定期的な点検整備や修繕を実施し、老朽化に対応する。 技術者の確保について検討する。	・PHガラス電極整備修繕 ・脱臭設備整備修繕工事 ・破砕機交換外設備関連機器修繕工事 ・沈殿槽掻き寄せ機修繕工事 ・真空遮断器設備修繕工事 外４件

成果	課題
し尿処理施設周辺に対する悪臭防止や処理水質の下水道放流基準を遵守しながら、運転管理を適正に行うことにより、市民の健康で快適な生活を確保できた。	施設の老朽化

改善目標（ R02年度にむけて）

定期的な点検整備、修繕の実施及び技術者の確保

指標の推移

	指標名							
1		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	2,903	2,451	2,500	0
	一般財源		(千円)	42,764	41,843	50,264	0
事業費計			(千円)	45,667	44,294	52,764	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	3.00	3.00		
		時間外勤務	(時間)	84.85	81.00		
	臨時職員等		(有無)	有	有		
人件費			(千円)	21,382	21,372		
事業コスト			(千円)	67,049	65,666		

R02年度当初積算根拠

・需用費　消耗品費　3,251,138円、燃料費　15,400円、水道光熱費　25,227,600円、
　　修繕料　1,229,800円
・役務費　通信運搬費　276,000円、保険料　37,458円
・委託料　施設管理委託料　2,898,671円、設計委託料　495,000円、委託料　6,615,400円
・使用料及び賃借料　使用料　15,000円、賃借料　89,087円
・工事請負費　修繕工事　12,612,700円

予算の方向性	理由	
新規		老朽化したし尿処理施設の方向性を検討するために、し尿処理施設整備基本構想策定業務委託料を新規予算で計上。

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。